

みどり
水土里ネット みやぎ

土地改良広報

謹賀新年



みやぎデジタルフォトライブラリー
定義如来西方寺（仙台市）

CONTENTS 1

新春挨拶

CONTENTS 2

第41回全国土地改良大会宮城大会を開催しました

宮城県土地改良事業団体連合会

2019

1

INDEX

トピックス

- P 3 新春挨拶
- P 11 平成30年度 第2回理事会を開催しました
- P 11 平成30年度 第3回理事会を開催しました
- P 12 平成30年度 第2回・第3回・第4回監事会を開催しました
- P 13 第41回全国土地改良大会宮城大会を開催しました
- P 16 農事用電力に係る要請活動を実施しました
- P 18 平成30年度「農業農村整備の集い」が開催されました
- P 19 農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を実施しました
(東北・北海道土地連絡協議会)
- P 20 第23回七夕まつり“こどもに夢を”を開催しました
- P 21 平成30年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」
保育作業を実施しました
- P 22 平成30年度 土地改良区役員研修会を開催しました
- P 23 平成30年度 ふるさと水と土基金全国研修会が開催されました
- P 24 平成30年度 インターンシップ事業を実施しました
- P 25 平成30年7月豪雨災害(広島県)における本会職員災害派遣壮行式を開催しました
- P 25 平成30年度 交通安全講習会を開催しました
- P 26 平成30年秋の叙勲、平成30年文化の日表彰
- P 27 シリーズ28～黒沢尻用水路土地改良区
- P 28 祝 迫川上流土地改良区と真坂土地改良区の合併が許可されました
- P 30 本会役員の就任関係、本会会員代表者の就退任関係
- P 30 連合会日誌(8月～12月)
- P 31 今後の行事予定(1月～3月)

土地改良区めぐり

お知らせ



新年のご挨拶

宮城県土地改良事業団体連合会
(水土里ネットみやぎ)

会長 伊藤 康志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から7年10ヶ月が経過し、この間各関係機関のご尽力により被災地の復旧・復興が着実に進んでおりますことに感謝申し上げます。

昨年10月16日に開催しました「第41回全国土地改良大会宮城大会」では、全国各地より6,000名を超える土地改良関係者の皆様方にご参加をいただき、本大会の目的である農業・農村の重要性と「食」や「農」、「環境」を支える基盤となる農業農村整備事業の役割を広く国民にご理解いただく契機とし、東日本大震災から7年余りが経過し、復旧・復興した本県の農業・農村の姿を全国の皆様に見ていただくと共に、寄せられた多くの支援に感謝する絶好の機会となりました。ご参加いただきました皆様方に重ねて御礼を申し上げます。

現在、農村では都市に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化・減少等により農地・農業用水等の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが危惧されております。農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくため、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見据えた適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっています。加えて、全国各地で「ため池」を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、「ため池」等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっております。

国では、平成29年5月に農業者の費用負担を求めないほ場整備事業や、「ため池」等の耐震化を迅速に進める事業の創設等を盛り込んだ改正土地改良法を成立、平成30年6月には少子高齢化等による組合員の減少や農業法人化の進展等、土地改良区を取り巻く社会経済状況の変化に対応すべく、土地改良区の運営に係る重要な部分が改正されました。具体的には、准組合員制度の創設や総代会制度の見直し、貸借対照表の作成・公表（複式簿記）の義務化、利水調整のルール化などが平成31年4月1日に施行されます。

このような中、土地改良関係予算については、平成30年度補正予算と平成31年度当初予算を合わせて、前期比651億円増の6,451億円的大幅増額予算となり、農業関係者からの強い要請と熱意が国・政府に受け止めていただいた結果だと思えます。平成31年度以降においても現場のニーズに適切に対応し安定的・計画的な事業推進のため、引き続き強力に現場からの声を届けていく所存であります。

今年は元号が変わり、新しい節目の年を迎えます。我々、水土里ネットみやぎは、この大きな時代の変革の中で、人間の存在に欠かすことのできない「水・土・里」を未来に継承していく使命のもと、東日本大震災からの復興と力強い農業農村整備事業の実現に向けて積極的に取り組んでまいりますので、関係する皆様方のお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして佳き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



一人一人が輝く 元気な宮城を目指して

宮城県知事 村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、本県出身の羽生結弦さんが平昌冬季オリンピックのフィギュアスケート男子シングルで66年ぶりにオリンピック2連覇の偉業を達成され、我が県のみならず、全国に大きな感動や勇気を与えてくれました。県政運営では、三陸縦貫自動車道が気仙沼市内で開通するなど、震災からの復興が着実に進むとともに、次世代放射光施設の仙台市内への設置決定や仙台空港の就航路線拡大、新ブランド米「だて正夢」の本格デビューなど、「創造的な復興」に向けたこれまでの取組が次々と実を結んだ1年でした。

10月には、全国から約6千人の土地改良事業関係者の皆様を迎えて全国土地改良大会宮城大会が盛大に開催され、震災後の農地や土地改良施設の復興状況などを発信することができました。また、全国からの様々な支援に対する感謝の気持ちをお伝えする良い機会となりました。

今年は、「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる「発展期」の2年目になります。「発展期」は復興の進展に伴い生じる新たな課題にきめ細かく対応しながら、復興計画後の新しい宮城を形づくる極めて重要な3年間です。全ての被災者が復興を実感できるよう復旧・復興を一層加速させるとともに、「宮城の将来ビジョン」に掲げた将来像の実現に向け、戦略的に取組を推進していかなければなりません。そのため、「力強くきめ細かな震災復興」、「地域経済の更なる成長」、「安心していきいきと暮らせる宮城の実現」、「美しく安全なまちづくり」を政策推進の基本として、復興の総仕上げに向けた施策に最優先で取り組むとともに、未来を担う子どもたちへの支援や人口減少対策など地方創生の取組も加速してまいります。

農林水産業については、競争力のある農林水産業の実現を加速するため、農林水産部を再編し、高度に専門的で機動的な体制に再編し、大規模経営体の育成や先端技術を活用し生産力強化を図るとともに、県産品のブランド価値の向上や付加価値の高い商品づくりなど幅広く支援を行い、農林水産業の成長産業化に取り組んでまいります。

さらに、農業・農村の活性化を図るため、都市との交流促進や6次産業化など、農業の高付加価値化や農村ビジネスの振興に向けた取組を支援します。また、農村の持つ多面的機能の維持を図るため、防災対策や自然環境、景観を意識した農村の形成に取り組んでまいります。

震災から間もなく8年が経過します。震災前の状態に戻す「復旧」にとどまらない「創造的な復興」を更に進め、一人一人が輝く、元気な宮城を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



新しい時代に向け 更なる飛躍を！

宮城県議会議長 佐藤 光 樹

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年11月の第366回宮城県議会におきまして第42代議長に選出いただきました佐藤光樹と申します。就任にあたりましては皆様からあたたかな激励をいただき感謝申し上げますとともに、議長として果たさなければならない責任の重さと与えられた課題の大きさに改めて身の引き締まる思いをしております。

さて、昨年は10月に「第41回全国土地改良大会宮城大会」が盛大に開催され、全国各地から多くの皆さんに来県していただき、盛会のうちに大会が終了いたしました。ここに関係者の皆様のご尽力に対し深く感謝を申し上げます。

昨年は、2016年に宮城県水稻奨励品種に採用された「だて正夢」が本格的に販売されました。市場での評価も高く、販売店での売れ行きも好調であり、上々の滑り出しを見せております。また、その他の施策といたしましては、みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期工事が完成し、東北自動車道と沿岸部のアクセスが強化されたほか、今後の本県経済への波及効果が期待される次世代放射光施設の設置が仙台市に決定されるなど、復興が着実に進むとともに、これからの県勢の発展を見据えた「創造的な復興」のしっかりとした足がかりが出来た年だったと感じております。また、本県出身の羽生結弦さんが、故障を乗り越え、冬季オリンピックフィギュアスケート競技において2連覇の快挙を達成され、被災地をはじめ県内各地に感動や勇気を与えてくれました。お祝いのパレードには全国、世界各国から多くのファンが訪れ、大いに賑わいました。

そして、昨年の県議会におきましては、従来から継続的に検討してまいりました議会改革の一環として、政務活動費収支報告書等を北海道・東北地域で初めてインターネット公開し、政務活動費の使途の透明性の確保を図るなど、県民の皆様が開かれた県議会に向けた取り組みを進めた1年となりました。

今年は震災から8年目を迎えます。来年度は震災復興計画の期間が残り2年となり、復興の完遂に向けた重要な一年となります。現在、創造的な復興の実現に向け着実に歩みを進めておりますが、被災地においては、復旧・復興事業の進捗に差が生じており、人口流出も進むなど厳しい環境にあることから、復興計画期間の終期を見据え、復興の総仕上げに向けた取組の更なるスピードアップを図るとともに、復興の進展に伴って生じた新たな課題等に対し、よりきめ細かく対応する必要があります。また、全国各地を見ますと、多発する自然災害により耕作地が大規模に被害を受けるケースが頻発しております。東日本大震災からの復旧に道筋を付け営農再開した宮城の取り組みを、復旧復興の模範として全国で活用できるようにするなどの取り組みも必要であると考えております。

そして、議会改革につきましては、県民の皆様が開かれた県議会を目指すため、一丸となってこれからも不断に取り組むたいと考えております。

今年は、元号が改められ、新たな時代を迎えます。次なる時代で更に飛躍が出来ますよう、また、この一年が皆様にとりまして良い年となりますように御祈念申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。



年頭の抱負

東北農政局長 鈴木 良典

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

平素より農政及び農業農村整備事業の推進につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は全国各地で多くの被害をもたらした豪雨、台風、地震などの自然災害が頻発し、東北地方でも5月と8月に豪雨に見舞われ、農作物に加え、ため池や水路などの土地改良施設が被害を受けました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、東日本大震災の発生からもうすぐ8年が経過しようとしております。津波被災した約2万ヘクタールの農地については、約9割で営農が可能な状態に復旧しました。さらに、復旧を契機としたほ場の大区画化や担い手への農地集積を推進するなど、復興・創生が力強く進められています。一方、原発事故により避難を強いられた地域での農業の復興・創生の取組は、避難指示の解除をもってスタートラインに立ったところであり、ようやく復旧が本格化してまいります。

昨年は、農政局の一部職員が震災復旧工事の入札等に関する未公表情報等を事業者に教示する等、被災者をはじめとする国民の信頼を裏切る行為が明らかになりました。東北農政局としては、これを重く受け止め、同様の事案が二度と発生しないよう、コンプライアンス意識の徹底等を図り、改めて再発防止に努めてまいります。

さて、農業農村整備に関する大きな動向としては、昨年、一昨年と2年連続での土地改良法の改正があります。具体的には、農地中間管理機構と連携した農家負担を伴わない農地整備事業の創設や行政が自ら行う耐震化事業の創設等に加え、組合員の資格交代の円滑化、理事の資格要件や財務会計制度の見直しなどの土地改良区運営の基本的な部分に関わる改正を行いました。この改正を通じて、担い手への農地の集積・集約の加速化や、防災・減災対策の強化を図るとともに、貴重な地域資源である土地改良施設を適切に管理し、次世代に引き継いでいくため、土地改良区の体制強化を進めていくこととしております。

このような動きの中で、農業農村整備においては、担い手が活躍する強い農業基盤作りによる「農業の競争力強化」や老朽化した農業水利施設の長寿命化等による「農村地域の国土強靱化」について、引き続き、重点的に推進してまいります。

さらに、国土強靱化の観点では、重要インフラの緊急点検等を踏まえた、防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を3年間で集中的に実施するとの政府の基本方針に基づき、農業水利施設についても、耐震化対策などの非常時にも機能を確保するために必要な施設の改修・更新等を緊急的に実施していくほか、下流への影響が特に大きく、早急に対策が必要な防災重点ため池について、機能や安全性確保のための改修や利用されていないため池の廃止等を緊急的に実施してまいります。

本年が皆様にとって良き一年となることをお祈りするとともに、引き続き皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
(全国水土里ネット)

会長 二階 俊 博

平成31年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年もまた、我が国は非常に多くの災害に見舞われました。6月には大阪北部地震が、6月下旬から7月上旬にかけては、西日本を中心に、北海道や中部地方など全国的に広い範囲で台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨が、9月には北海道胆振東部地震が、また、7月から9月にかけては5度に及び台風が我が国に上陸し、多大な被害をもたらしました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧が出来ますよう、私どもとしても一体となって全力を尽くしたいと思いをします。

さて、私は会長に就任以来、民主党政権時代に7割近く削減された状況であった予算をまずは復活させようと、「闘う土地改良」の重要性を訴え、予算獲得に向け本気になって取り組んで参りました。全国の皆様の大きな力によって、平成31年度当初予算は、重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策546億円を含めて4,963億円、平成30年度の第2次補正予算1,488億円を合わせると、6,451億円となりました。ひとえに皆様方のご尽力の賜であると、心から感謝致します。

また、土地改良の代表を再び国会へ送り込むとの強い決意のもと、私たちの代表として当選された進藤かねひこ参議院議員も全国を飛び回り、元気に頑張っており、その評価は極めて高いものがあります。今後は、進藤さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。更には、進藤議員と車の両輪たらしとする宮崎まさお氏も、来たるべき闘いに向けて、全国の皆様の所へ伺っているところであります。

今、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

このような状況の中、昨年の通常国会では改正土地改良法が成立し、土地改良にとって、2年続けて改正された新しい土地改良法を基軸に、新たな展開を図る大きな節目の年となります。

私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思いをします。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



新年を迎えて

全国水土里ネット 会長会議顧問

参議院議員 進 藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害が頻発した年でした。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。平成最後の年となる今年も、「平成」の由来の如く「地平天成」（地平らかにして天なる：国の内外、天地とも平和が達成される）の年になることを強く願いたいと思います。

さて、昨年末に平成30年度第2次補正予算と平成31年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,451億円（30年度補正：1,488億円、31年度当初：4,963億円）を確保することができました。これもひとえに、農業改革の推進に不可欠な土地改良の実施に向けた現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を、政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。予算は、人任せでは確保できない、自ら汗をかき実働して確保する、まさに「闘う土地改良」の成果であると言えます。この貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、何と言っても「国土強靱化」に重点が置かれたことです。重要インフラの緊急点検等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」として補正と当初を合わせて1,091億円計上され、制度的にも防災重点ため池整備等で大幅な拡充がなされました。また、ここ2回にわたる土地改良法の大改正を踏まえ、土地改良区の複式簿記の義務化等に対応した土地改良区体制強化事業が整備されるなど、現場の声に即した具体的な対応策も示されました。農業競争力強化関係でも現場の実態に即した要件設定やハードとソフトの連携強化策などが盛り込まれています。今回の予算は、土地改良の原点である現場重視の視点が更に強化されたものとなっています。この貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

宮城県では、昨年10月に「第41回全国土地改良大会宮城大会」が全国から6千人を超える土地改良事業関係者の皆様にご参加いただき、盛大に開催されました。東日本大震災の発生から7年が経過する中で、震災後の復興した農地や土地改良施設の姿を全国の皆様に見ていただけたと思います。ここに水土里ネットみやぎをはじめ関係者の皆様のご尽力に対し深く感謝を申し上げます。

今年は、10年間の「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる最終3年間の「発展期」をむかえ、震災前の状態に戻す「復旧」ととどまらない「創造的な復興」に向けた施策を最優先に取り組んでいると伺っております。水土里ネットにおいても、震災からの復興総仕上げに向け、組織の総合力を最大限に発揮し、被災地域の再生・復興に全力で取り組んでいただきたいと思います。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫（まさお）さん（全国水土里ネット会長会議顧問）も「土地改良は未来への礎」を訴えて全国各地を精力的に巡回しています。宮崎さんと私が皆様と連携して「闘う土地改良」を共闘できるようにご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

本年も引き続き皆様と一緒にあって諸課題の解決に向けて専心努力してまいりたいという覚悟です。本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



「闘う土地改良」 —未来への礎を築くために—

全国水土里ネット 会長会議

顧問 宮崎 まさお

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私は昨年1月に全国水土里ネット会長会議顧問を仰せつかり、この一年間、全国各地で地域の実情や意見をつぶさに拝聴させていただきました。これまでの移動距離は地球5周分の20万kmになりました。

昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震をはじめとする地震、台風、さらには噴火など、全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願ってやみません。また、被災地の状況をお聞きするたびに、防災・減災対策は一刻の猶予も許されないとの思いを強くしています。

土地改良は、先人が創り上げてきた農地やかんがい排水施設などをそれぞれの時代に応じて整備を行い、次の世代に引き継いでいくシステムです。つまり、土地改良は、現在の農業の発展はもとより、日本の「未来への礎」を築くものであると考えています。

私は、現場でお聞きした様々な課題を解決し、日本のすばらしい農山漁村を「未来への礎」として、子どもや孫たちに引き継いでいくため、「大切な農地と水を守る」「農山漁村を災害から守る」「美しい農山漁村を守る」という3つの目標のもと、これを実現するため、土地改良の安定的な予算確保や災害に強い農山漁村づくりなど、7つのチャレンジに全力で取り組んでいく考えです。

そして、現場と国政の間を、私の好きなテニスのボールのように素早く往復し、現場の声を施策に反映していきたいと考えています。

今年は天皇陛下が御退位され、元号が変わる大きな節目の年です。新しい時代の始まりの年でもあり、土地改良にとっても大きく羽ばたく年にしなければなりません。皆様の土地改良に対する熱い思いと大きな力を、私、宮崎まさおに賜りますようお願いいたします。

むすびに、本年が皆様にとって実り多き年となりますように祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

宮崎まさお 7つのチャレンジ

1. 土地改良の安定的な予算確保にチャレンジ
2. 災害に強い農山漁村づくりにチャレンジ
3. 農地や水を守り育てる体制の強化にチャレンジ
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承にチャレンジ
5. 世界に日本の農林水産業と農山漁村のすばらしさの発信にチャレンジ
6. 女性の視点を大切にした農山漁村政策の展開にチャレンジ
7. 農林水産業と農山漁村への国民の理解づくりにチャレンジ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

 ^{みどり}
水士里ネット みやぎ
(宮城県土地改良事業団体連合会)



会 長 伊藤 康志
(大崎市長)



副会長 亀谷 久雄
(あぶくま川水系角田地区土地改良区理事長)



副会長 鈴木 博
(石巻市北方土地改良区理事長)



専務理事 菅原 喜久男
(学識経験者)



理 事 加藤 徹
(学識経験者 宮城大学名誉教授)



理 事 樋口 俊彦
(蔵王町土地改良区理事長)



理 事 佐藤 稔
(仙台東土地改良区理事長)



理 事 浅野 元
(大和町長)



理 事 菅原 勘一
(大崎土地改良区理事長)



理 事 菅原 義幸
(迫川上流土地改良区理事長)



理 事 安部 昭男
(伊豆沼土地改良区理事長)



理 事 千葉 敏彦
(迫川沿岸土地改良区理事長)



総括監事 佐藤 洋治
(柴田郡村田町外一町澄川土地改良区理事長)



監 事 千葉 榮
(鶴田川沿岸土地改良区理事長)



監 事 横山 徹
(鳴瀬土地改良区理事長)

外職員一同

平成30年度 第2回理事会を開催しました

本会では、去る8月7日（火）午後1時から平成30年度第2回理事会を開催し、平成29年度事業報告の承認並びに一般会計収入支出決算の承認等について審議を行いました。

当日は伊藤会長はじめ理事11名が出席し、伊藤会長並びに浅野参与から挨拶をいただいた後、議事に入りました。

議事は伊藤会長が議長となり、第1号議案から第4号議案の4案件を上程し、事務局からの内容説明を行い、4議案とも原案通り承認可決されました。

なお、当日の提出議案は次のとおりです。



平成30年度 第2回理事会の様子

- 第1号議案 平成29年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成29年度一般会計収入支出決算の承認について
- 第3号議案 平成29年度財産目録の承認について
- 第4号議案 農家負担軽減支援対策事業審査委員会規程の一部改正について

平成30年度 第3回理事会を開催しました

本会では、去る12月10日（月）午後5時から平成30年度第3回理事会を開催し、諸規程の一部改正、一般会計収入支出補正予算、職員の表彰についての審議を行いました。

議事は亀谷副会長が議長となり、第1号議案から第3号議案の3案件を上程し、事務局からの内容説明を行い、3議案とも原案通り承認可決されました。

議事終了後、横山監事から平成30年度定期監査等の報告があり、続いて事務局から第41回全国土地改良大会宮城大会の実施実績について、叙勲及び表彰についての報告がなされ、理事会を終了しました。

なお、当日の提出議案は次のとおりです。



平成30年度 第3回理事会の様子

- 第1号議案 事務補助員等取扱規程の一部改正について
- 第2号議案 平成30年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について
- 第3号議案 職員の表彰について

平成30年度 第2回・第3回・第4回監事会を開催しました

本会では、去る7月27日（金）に平成30年度第2回監事会、11月2日（金）に平成30年度第3回監事会、12月10日（月）に平成30年度第4回監事会を開催しました。

下記の案件について、慎重審議がなされ、それぞれ原案通り承認されました。

第2回監事会（平成30年7月27日（金）開催）
第1号議案 監査結果の処理方法について

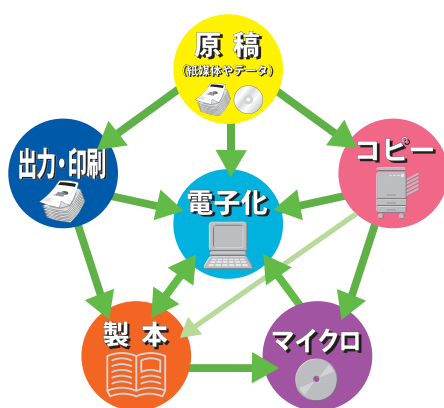
第3回監事会（平成30年11月2日（金）開催）
第1号議案 監査結果の処理方法について

第4回監事会（平成30年12月10日（月）開催）
第1号議案 平成30年度一般会計収支補正予算の専決処分に係る承認について



平成30年度 第4回監事会の様子

セントでは、すべて「ワンストップ」でご要望にお応えします。



コピーサービス

カラーコピー 白黒コピー

様々な状態の原稿を、あらゆる技術を使って複製いたします。



製本・各種加工

二つ折り製本 黒表紙製本 図面箱

あらゆる製本お任せください。ご要望の仕様用途に合わせて製本いたします。



電子納品・ファイリング

各省庁・各県・独立行政法人へ提出する、最終成果品の作成を代行いたします。



マイクロ作成

各県・各市・各団体仕様のマイクロ作成いたします。

オンデマンドプリント・大判出力

オンデマンドプリント 名刺・DMはがき
CAD データ出力 大判出力インクジェット

枚数は少ないけど、キレイに印刷したい。そんなお客様にピッタリ!!



第41回全国土地改良大会宮城大会を開催しました

～先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み～



平成30年10月16日（火）、宮城県総合運動公園（グランディ 21）セキスイハイムスーパーアリーナにおいて、第41回全国土地改良大会宮城大会を開催しました。

本大会は、～先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み～をテーマに、農業・農村の重要性と「農」や「食」、「環境」を支える基盤となる土地改良事業（農業農村整備事業）の価値や役割を広く国民に理解していただくとともに、全国から多くの支援を受け東日本大震災から復興した本県の農業・農村の姿を、広く全国に発信することを目的とし、県内外各地から6,040名余の農業農村整備事業関係者が参集し、盛大に開催しました。

当日は、県内各地観光紹介スライドショー、伊達武将隊パフォーマンス、エムズジャパンオーケストラ演奏などのオープニングセレモニーで始まり、式典では先ず以って震災などで犠牲になられた多くの方々や、前全国水土里ネット会長、故野中広務氏に対し、哀悼の意を表した黙祷が捧げられました。続いて、シンガーソングライターの熊谷育美さんによる国歌斉唱の後、水土里ネットみやぎ伊藤康志会長の開催県挨拶、全国水土里ネット二階俊博会長の主催者挨拶、宮城県村井嘉浩知事の歓迎のことばに続き、農林水産副大臣の小里泰弘氏、宮城県選出国會議員代表として小野寺五典衆議院議員並びに都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問である進藤金日子参議院議員から来賓祝辞をいただきました。



開催県挨拶
水土里ネットみやぎ会長 伊藤康志 氏



主催者挨拶
全国水土里ネット会長 二階俊博 氏



歓迎のことば
宮城県知事 村井嘉浩 氏

来賓紹介の後、本年1月26日に逝去された前全国水土里ネット会長、故野中広務氏の土地改良に対する永年のご功績を称え、ご遺族に感謝状の贈呈が行われました。

引き続き、土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰46名の方々が栄誉に浴されました。本県からは水土里ネットみやぎ伊藤康志会長が農林水産大臣表彰、水土里ネットみやぎ亀谷久雄副会長が農林水産省農村振興局長表彰、仙台東土地改良区理事長の佐藤稔氏が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞しました。



感謝状を進呈される前全国水土里ネット会長
故 野中広務氏のご遺族（右側）



農林水産大臣表彰を受賞された水土里
ネットみやぎ会長 伊藤康志 氏（左端）



大会式典会場内の様子
（グランディ 21メインアリーナ）

休憩を挟んで宮城県村井嘉浩知事から「宮城の農業農村復旧復興のあゆみ」、農村振興局長室本隆司氏から「未来を築く土地改良」と題して基調講演があり、その後、都道府県土地改良事業団体連合会会長 会議顧問の宮崎雅夫氏がコーディネーターを務め、株式会社ぱるファーム大曲の小岩敏幸氏、株式会社やまもとファームみらい野の島田孝雄氏、おにぎり茶屋ちかちゃんの佐々木千賀子氏、仙台東土地改良区の佐藤稔理事長がパネラーとなり「東日本大震災における創造的復興への軌跡」と題してパネルディスカッションが行われました。

また、宮城県の優良地区事例紹介では、美里東部土地改良区の小田嶋康司氏が「青生地区の農業農村整備～高収益作物生産への挑戦～」、北上川沿岸土地改良区の武山康夫氏が「大川地区の復旧・復興の取り組み～壊滅的被害からの再生～」と題してそれぞれの土地改良区の実績事例を紹介しました。



パネルディスカッション



〔優良地区事例紹介〕小田嶋康司 氏
〔美里東部土地改良区総務課長〕



〔優良地区事例紹介〕武山康夫 氏
〔北上川沿岸土地改良区事務長〕

優良地区事例紹介終了後、東日本大震災で校舎が全壊し、今年4月から新校舎で学び始めた、宮城県農業高等学校の食品化学科3年島貫萌さんと、農業・園芸科2年寺崎大蔵さんのお二人により今大会の大会宣言が行われました。

大会宣言

私たちの住む宮城県は、東北地方の中にあっては比較的温暖な気候で、東に広がる太平洋と西にそびえる奥羽山脈に挟まれ、仙台平野や大崎耕土などに広大な水田が広がる、四季折々の豊富な食材にも恵まれた、魅力あふれる“ふるさと”です。

これらの豊かな農地は、仙台藩祖伊達政宗公など、先人の情熱と懸命な努力の賜物であり、この美しい農業・農村を受け継いだ私たちは、その恩恵を大いに享受してきました。今、全国の農村では高齢化や人口減少による離農が進み、耕作放棄地が増加し、農業水利施設の老朽化など、農業・農村を取り巻く状況は大変厳しいものとなっています。このまま放置するならば、祖先から受け継いだ財産を未来に遺すことなど到底出来るものではありません。私たちが受けた恩恵はそのまま未来の人々が受けられるよう、私たちは男性も女性も、その持てる知恵と能力を結集し、このような課題にしっかりと対応していかなければなりません。私たちが受け継いだこの“ふるさと”を未来の人々に引き渡すことは、私たちの責務なのです。

平成23年3月11日に発生した地震と大津波による東日本大震災は、沿岸の農地や農業用施設にも未曾有の被害をもたらし、私たちの生活や地域の繋がりをすっかり打ち壊してしまいました。

しかし、全国の皆様からのたくさんの支援に勇気づけられ、私たちは立ち上がり、全国の皆様との強い絆を信じ、自らの力で、自らの道をひらくという強い気持ちで、これまで歩んで来ました。

東日本大震災からの復興は未だ道半ばです。そして全国各地で発生した地震や豪雨によって被災された方々は、元の生活や絆を取り戻そうと今も懸命の努力を続けています。

ここに集う私たちは、東日本大震災を始めとする災害からの早期復旧・復興を実現するとともに、農業農村整備事業の着実な推進により、先人たちの叡智の結集であるかけがえのない農業・農村を守り、育み、「水（みず）」と「土（つち）」と「里（さと）」をしっかりと未来に引き継いでいくことを、ここ、“伊達の地”宮城から高らかに宣言します。

大会宣言終了後、国歌を独唱した熊谷育美さんと、昨年12月に設立した「みやぎ水土里ネット女性の会」の会員43名が登壇し、大会宣言をしていただいた島貫萌さん、寺崎大蔵さんとともに、全国の被災地で頑張っておられる農業者の方々を思いながら「雲の遙か」を合唱し、会場から盛大な拍手を博しました。

最後に、歴史ある大会旗の引継ぎと、次期開催県である水土里ネットぎふ水野光二副会長が次期開催県挨拶を行い、水土里ネットみやぎ亀谷久雄副会長の閉会挨拶により大会の一切は盛会のうちに終了となりました。



大会旗を次期開催県
(岐阜県)へ引継



次期開催県（岐阜県）挨拶
水土里ネットぎふ副会長 水野光二氏



閉会挨拶
水土里ネットみやぎ副会長 亀谷久雄氏

大会終了後、880名余の方々がシャトルバスで仙台国際センターへ移動し、交歓会に参加しました。交歓会では、本会伊藤康志会長の主催者挨拶、宮城県副知事河端章好氏と仙台市長郡和子氏の歓迎挨拶に続き、全国土地改良事業団体連合会副会長西村徹氏の来賓挨拶をいただきました。

伊藤会長始め17名の方々による鏡開きの後、宮城県議会議長中島源陽氏の音頭により乾杯が行われ、仙台すずめ踊りなどのアトラクションを観覧しながら宮城ならではの食事や地酒を味わい、語らい、交流を楽しみました。



交歓会 鏡開き



交歓会会場内の様子
(仙台国際センター展示棟内)



中締め挨拶
水土里ネットみやぎ副会長 鈴木 博氏

翌日の17日（水）、18日（木）の2日間に渡り、2,200名余の参加者が県内全域を日帰り（4コース）、1泊2日（3コース）に分かれて、東日本大震災で甚大な被害を受けた農地の復旧・復興事業地区を中心に、防災・減災の意識を高めていただく震災遺構や、宮城の農村景観、歴史的施設を視察しました。



世界かんがい施設遺産
「内川」（大崎市）



震災遺構
仙台市立荒浜小学校（仙台市）



被災地域農業復興総合支援事業吉田地区
いちご選果場内（亶理町）

農事用電力に係る要請活動を実施しました

本会では、平成32年3月末に経過措置が終了する農事用電力メニューの継続及び料金の据え置きについて、東北電力株式会社に対して要請活動を実施しました。併せて、関係の国会議員に対しても特段のご高配を賜りたい旨要請しました。

農事用電力メニューが撤廃された場合には農業水利施設の維持管理への影響が極めて大きく、土地改良区の徴収する賦課金の値上げなども想定され、農業農村の振興に甚大な影響が危惧されることから、全国の電力会社に対して要請することとなったものです。

本会などが実施した要請活動は次のとおりです。

【東北電力本店】平成30年7月30日（月）

要請先	東北電力株式会社 取締役社長
要請者	東北 6 県及び新潟県土地改良事業団体連合会長（連名）
参集者	福島県土地改良事業団体連合会 車田会長 （東北・北海道連協会長県）
	宮城県土地改良事業団体連合会 亀谷副会長（東北・北海道連協副会長県）

【東北電力宮城支店】平成30年7月31日（火）

要請先	東北電力株式会社 執行役員宮城支店長
要請者	宮城県土地改良事業団体連合会 伊藤会長
参集者	宮城県土地改良事業団体連合会 亀谷副会長 他

【県選出国会議員等】平成30年8月2日（木）

要請先	進藤金日子参議院議員並びに本県選出衆参国会议員
要請者	宮城県土地改良事業団体連合会 伊藤会長
参集者	宮城県土地改良事業団体連合会（事務局対応）



東北電力株式会社本店への要請



東北電力株式会社宮城支店への要請

要 請 書

水土里ネット（正式名称「土地改良区」）には、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆめ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等を次世代に良好な状態で継承し、また、農業や再生可能エネルギーに対する国民の関心や期待に十分に答えていく責務があります。さらには、大規模自然災害のリスクが高まる中、農業・農村のみならず、住民のいのちや暮らしの安全の確保や国土強靱化にも貢献しています。

電力の小売自由化は、平成12年以降、段階的に進められ、平成28年4月から全面自由化となっている一方、50KW以下の低圧分野については、需要家の保護の観点から、経過的な措置として従来と同様の規制料金が維持されています。

この経過措置は、平成32年3月末までとされていることから、現在、経済産業省の総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会において、課題検討を行っている聞いております。

現在、各電気事業者は、農業等への影響を踏まえて、経過措置のある低圧分野のみならず、特別高圧、高圧分野においても、従来の農事用電力メニューを継続している状況にあります。

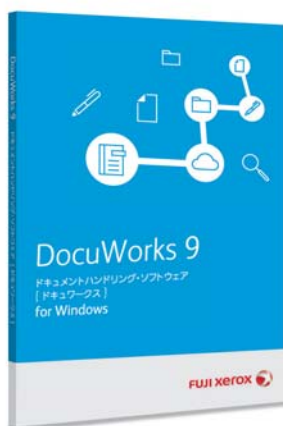
しかしながら、平成32年3月末までの経過措置が終了後、仮に、農事用電力メニューが撤廃された場合には、農業水利施設の維持管理への影響が極めて大きいことから、農業の持続的発展や成長産業化、農村の振興に甚大な影響が危惧されます。

電力料金の負担増となった場合、組合員である農業者に負担を求めざるを得なく、米をはじめとする農産物の価格低迷や担い手不足が深刻な状況の中で、組合員に一層の追い討ちをかけるものです。これにより、益々離農者が増え、食料の安定供給・自給率の向上、良好な農村環境の維持が困難となるとともに、地域の防災・減災能力が低下し、結果として国土の荒廃に繋がることが懸念されます。

これらを踏まえ、下記の事項について特段の御高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 一、農事用電力について、その利用実態や社会的・経済的意義等を踏まえ、低圧分野の経過措置の継続並びに既に自由化されている特別高圧、高圧分野を含めた農事用電力メニューの継続と料金の据え置きを要望する。

FUJI XEROX 電子文書と紙文書を
一元管理。

ドキュメントハンドリング・ソフトウェア

DocuWorks 9

国内販売累計500万ライセンス達成

富士ゼロックス株式会社

Xerox, Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

www.fujixerox.co.jp

富士ゼロックス宮城株式会社

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル

TEL 022-221-2131

www.fujixerox.co.jp/myx/

平成30年度「農業農村整備の集い」が開催されました －農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－

去る11月14日（水）、東京都千代田区砂防会館別館「シェーンバッハ・サバー」において、全国から農業農村整備事業関係者約1,300名が集結し、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－」が、多数の国会議員のご臨席のもと盛大に開催され、本県からも伊藤康志会長をはじめとする25名が参加しました。

はじめに、主催者である二階俊博全国土地改良事業団体連合会長（自民党幹事長）より、「全国土地改良大会宮城県大会では6千人が参加するなど、戦う土地改良が成果を上げている。また今後も組織が結集して更なる予算確保などの発展を図ってゆくため、我々を代表する国会議員を送り出さなければなりません。そのためには我々の責任で頑張ってゆかなければなりません。」と挨拶され、来賓として出席された吉川貴盛農林水産大臣、櫻田義孝東京オリンピック担当大臣、塩谷立農林・食料戦略調査会長、井上義久公明党副代表、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問よりご祝辞が述べられました。

要請文提案では、本会の菅原喜久男専務理事から要請書の朗読説明が行われ、全会一致で採択されました。

続いて、宮崎雅夫都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問から情勢報告、ビデオ上映による事例発表があり、最後に、岐阜県土地改良事業団体連合会 藤埴守副会長のかけ声のもと、参加者一同による力強いガンバロウ三唱で集いは終了しました。



二階俊博全国土地改良事業団体連合会長の挨拶



農業農村整備の集いの様子

農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を実施しました

東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会

去る11月14日（水）並びに15日（木）の2日間にわたり、東北・北海道土地連連絡協議会（会長：車田次夫福島県土地連会長）による要請活動が実施されました。

当日は、各道県土地連の会長・副会長並びに専務理事等が参集し、本会からは亀谷久雄副会長並びに菅原喜久男専務理事が出席し、吉川貴盛農林水産大臣・政務三役・事務次官以下同省担当部局及び渡辺博道復興大臣・政務三役以下復興庁担当部局、更には財務省の麻生太郎財務大臣以下担当部局に対し、平成31年度農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関し要請を行いました。

農林水産省には「農業農村整備の集い」終了後に訪問し、吉川貴盛農林水産大臣並びに農村振興局幹部職員が急きょ国会の都合により面会できなくなったため、大臣秘書官に要旨を説明し要請を行いました。

翌15日には復興庁に訪問し、渡辺博道復興大臣と面会し、『農業農村整備事業の重要性は理解している。復興創生期間が終了する平成32年度まで出来ることを対処していく。原発事故と津波被害は対応が異なる。津波被害については大分進んできているが、原発被害関係は今後全面的に国が支援していく。今後については、進捗状況を調査しながら整理し、年度内に方向付けをしていきたい。予算を確保しながら期待に応えたいが、財務省の理解も必要である。』とのコメントがありました。

更に、財務省では奥達雄主計局総務課長から『農業農村整備予算については農林水産省と協議しながら対応したい。多面的機能支払制度についても、農林水産省と協議しながら対応して参りたい。自然災害への対応については、補正予算も含め、出来る限り対応してきたが、今後も予備費を積み増しするなどして全力で対応して参りたい。東日本大震災関連については、10年間集中的に進めてきた。その後は復興庁で検討しているので、その動向を見守りながら議論に参加して参りたい。』とのコメントがありました。

各省庁の要請活動後、各道県選出国會議員に対しても、同様の内容により強力な要請活動を実施しました。



[復興庁]渡辺博道復興大臣（右から3番目）に要請する東北・北海道土地連連絡協議会役員



[財務省]奥達雄総務課長（右から4番目）に要請する東北・北海道土地連連絡協議会役員



去る8月6日（月）から8日（水）の3日間にわたり、東北農政局、宮城県、水土里ネットみやぎの共催により「第23回七夕まつり“こどもに夢を”～水土里の絆で未来を描く～」を仙台市役所前の勾当台公園市民広場において開催しました。

このイベントは、会場を訪れる多くの一般の方々に、農業や農村の果たす役割や機能を理解してもらうために平成8年度から継続して実施しており、今年度で23回目の開催となりました。

東北農政局・宮城県のブースでは、今年も特別企画として「見て・さわって・復興米クイズ！」として、東日本大震災により被災した農地や農業用施設の復旧・復興状況をクイズ形式にしたパネルを展示し、クイズとアンケートにご回答いただいた方に対して景品として宮城県の復興米（石巻産ササニシキ・ひとめぼれ）をプレゼントしました。



見て・さわって・復興米クイズ！

水土里ネットみやぎのブースでは、「生きもののふれあいコーナー」と「団扇・絵はがきお絵描きコーナー」、「現場技術体験コーナー」を企画・展示し、子ども達を中心に多くの方々に“見て・作る”体験をしていただきました。（※現場技術体験コーナーについては雨天のため中止となりました）

「生きもののふれあいコーナー」では、農業用水路や田んぼに生息するメダカ、ドジョウ、ザリガニ、カエルなどを水槽で展示したほか、今年も昨年の展示で一躍人気者になったクサガメやギバチ、バラタナゴなどの珍しい生きものも展示し、子ども達だけでなく大人にも見ていただき、好評を博しました。

「団扇・絵はがきお絵描きコーナー」では特に親子連れが参加し、終始大盛況のコーナーとなりました。参加していただいた方には農業農村整備事業に関する資料や水土里ネットみやぎのグッズなども配布して広報活動も行いました。

イベント期間中は、あいにくの天気ではありましたが、3日間で1,071人の方が来場され、東日本大震災からの復旧・復興状況、農業・農村がもつ多面的機能などについて、多くの一般の方々に知っていただくことができ、大盛況に終わることができました。



生きもののふれあいコーナー



団扇・絵はがきお絵描きコーナー



今年も大盛況

平成30年度 海岸防災林再生支援植樹活動 「水土里ネットの森」 保育作業を実施しました

東松島市大曲浜地区・・・平成29年7月植樹／施工面積0.26ha／植樹本数1,300本

去る9月5日（水）、東松島市大曲浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を東部支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢35名参加のもと実施しました。除草作業は、先ず参加者が鎌による手作業で、クロマツの苗木が傷つかないよう丁寧に除草作業を行い、その後、草刈機を使用して周辺の雑草を刈り払い、2時間程で除草作業を終了しました。除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが1mとなり、順調な生育となっていました。



手作業で丁寧に除草



保育作業参加者全員による集合写真



1mまで生育したクロマツ

岩沼市寺島字川向地区・・・平成27年10月植樹／施工面積0.056ha／植樹本数253本

去る11月15日（木）、岩沼市寺島字川向地区（岩沼潮除須賀松の森（1号区））において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を名取土地改良区職員並びに本会職員総勢8名参加のもと実施しました。東松島市大曲浜地区同様の除草作業を行い、1時間程で除草作業を終了しました。除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、植樹当初30cmだったクロマツが1mとなり、順調な生育となっていました。



草刈機による除草作業



除草作業後の川向地区



1mまで生育したクロマツ

亘理郡亘理町吉田字砂浜地区・・・平成28年6月植樹／施工面積0.47ha／植樹本数2,500本

去る11月16日（金）、亘理郡亘理町吉田字砂浜地区において、海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業（除草作業及び林内清掃）を仙台支部管内の土地改良区役職員並びに本会職員総勢35名参加のもと実施しました。2地区と同様の除草作業を行い、3時間程で除草作業を終了しました。除草作業終了後にクロマツの生育状況を確認した結果、生育状況に若干バラツキが見られましたが、植樹当初30cmだったクロマツが最大で1mとなり、順調な生育となっていました。



4班に分かれての除草作業を実施



保育作業参加者全員による集合写真



1mまで生育したクロマツ

平成30年度 土地改良区役員研修会を開催しました

去る11月7日（水）～8日（木）の2日間、仙台市太白区秋保町湯元「秋保温泉 ホテルニュー水戸屋」において、県内43土地改良区理事・監事128名参加のもと、平成30年度土地改良区役員研修会を開催しました。

この研修会は、土地改良区理事及び監事の資質向上を図り、円滑な組織運営並びに基盤強化に資するための情報提供を目的に開催しています。

今年度は、元農林水産省農村振興局長 荒川隆氏による「改正土地改良法について」の講演をはじめ、「改正土地改良法の運用について」の情報提供、円滑な組織運営に繋がる「土地改良区運営上の留意点等について」等の研修を行ない、熱心な質疑応答や関連する意見も活発に出されるなど、いずれも土地改良区にとって参考となる貴重な研修となりました。



研修会の様子

日程	研修内容（講演）	講師
11/7	改正土地改良法について	荒川 隆 氏（元農林水産省 農村振興局長）
	土地改良区運営上の留意点等について	渡部 憂紀 氏 （宮城県農林水産部農村振興課指導班 主査）
11/8	多面的機能支払交付金に係る県内土地改良区の取組み状況について	戸松 若菜 氏 （宮城県土地改良事業団体連合会多面的機能推進室 室長）
	改正土地改良法の運用について	畠山 正弘 氏 （東北農政局農村振興部土地改良管理課 課長）

平成30年度 ふるさと水と土基金全国研修会が開催されました

～宮城県中山間地域活性化推進協議会の会員が受講～

去る9月13日（木）～14日（金）の2日間、東京都渋谷区の「国立オリンピック記念青少年総合センター」において、ふるさと保全ネットワーク（全国土地改良事業団体連合会）並びに農林水産省の共催による「平成30年度 ふるさと水と土基金全国研修会」が開催されました。

この研修会は、地域住民活動の活性化に関する推進指導、助言を行う「ふるさと水と土指導員」等の人材育成に資することを目的として開催されたもので、本県からは、宮城県中山間地域活性化推進協議会の会員市町担当職員等5名が参加し、中山間地域等の活性化に係る情報の収集、会員市町相互の情報交換が行われました。

はじめに、主催者を代表して小林祐一全国土地改良事業団体連合会専務理事、後藤幸雄農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課長補佐より挨拶が述べられました。

講演や活動紹介では、地域活性化のための特産品の商品化やブランド化に向けた広報戦略や地域の取組について講演がありました。また、質疑応答が設けられ参加者からは活発な意見交換が行われ、有意義で参考となる研修会となりました。

なお、研修会内容は次のとおりです。

日程	研修内容（講演）	講 師
9/13	「プロモーションに頼らない！無名の地域をブランド化する方法『まちいくふじかわ』本菱の事例から」	深澤 了 氏（むすび株式会社代表取締役）
	「地域資源のブランド化と販路開拓」	黒川 健太 氏 （株式会社 生産者直売のれん会 代表取締役社長）
	「女性パワーで！「大地の恵み・人・思い」を活かした商品開発」	山口ひとみ 氏 （企業組合 旬彩工房 代表理事）
9/14	「住民との交流を通じてふるさとの魅力を発信」	盛田 守 氏 （茨城縣城里町 J A常陸稲作部会ななかいの里生産研究部会）
	「楽山人塾＝駿大版ダッシュ村in飯能市上名栗」	平井 純子 氏 （埼玉県飯能市 駿河台大学現代文化学部教授）



主催者挨拶
（小林祐一全国土地改良事業団体連合会専務理事）



研修会の様子

平成30年度 インターンシップ事業を実施しました。

本会では、高校生、大学生が在学中に研修的な就業体験を行うことで職業観の確立や勉学への動機付けの一層の充実を図るとともに、その成果を就職後に能力発揮することで、実社会への適応能力の高い、実践的な人材の育成に繋がることを目的としたインターンシップ（現場実習教育）を実施しました。

◆大学からの受入（応募＝北里大学から1名）

実施期間：平成30年9月3日（月）～平成30年9月7日（金）の5日間

実 施 日	実施プログラム
9月3日（月）	オリエンテーション、本会の概要、土地改良区等会員支援のあらまし、維持管理適正化事業現地指導実習
9月4日（火）	換地・農地集積業務の概要、土地改良区における再生可能エネルギーの取り組み
9月5日（水）	多面的機能支払制度の概要、農業集落排水事業の概要と現地視察
9月6日（木）	農業農村整備事業の調査計画、ほ場整備地区現場視察、地理情報システムの運用と管理
9月7日（金）	実習取りまとめ



農業集排水処理施設の視察



土地改良施設維持管理適正化事業現地実習

◆高校からの受入（応募＝小牛田農林高等学校から3名）

実施期間：平成30年10月3日（火）～平成30年10月5日（木）の3日間

実 施 日	実施プログラム
10月3日（火）	オリエンテーション、本会の概要、農業農村整備事業の概要、農業・農村施設見学
10月4日（水）	測量実習、測量成果図面作成、排水路設計計画
10月5日（木）	排水路設計計画、現場実習総括、マナー講習



排水路測量実習



測量成果図面作成

平成30年7月豪雨災害（広島県）における 本会職員災害派遣壮行式を開催しました

去る9月12日（水）、本会館3階会長室において、全国土地改良事業団体連合会からの要請のもと、西日本一帯で発生した平成30年7月西日本豪雨災害で被災した広島県に人的支援として派遣される本会職員（第一次派遣隊）の壮行式を開催しました。

壮行式には菅原専務理事をはじめとする役職員及び派遣隊員総勢9名が参加し、第一次派遣隊として派遣される佐藤指導監、二瓶次長（総括）、庄司技術主幹に向けて菅原専務理事から激励の言葉が述べられました。



第一次派遣隊を激励する菅原専務理事（右）



出水により大量の土砂が流入した農地

本会派遣隊が担当する広島県府中市は、県の内陸部にある盆地に位置し、府中市中央部を流れる一級河川「芦田川」に中小溪流が流入する中山間地形となっています。被災した農地の多くが溪流沿いの急峻な斜面にある石積みの棚田・棚畑であり、これらの農地や水路が溪流からの出水により、法面や畦畔の崩壊、土砂流入等を受け被災しました。

被災箇所については、府中市だけで547箇所（農地276箇所、農業用施設183箇所、ため池7箇所、林業施設81箇所）が被災し、被害額が1,363百万円にのぼる甚大な被害となりました。

本会では、第一次から第四次までの災害派遣隊を編成し、9月12日から11月17日までの期間、広島県土地改良事業団体連合会の現況調査・測量業務・査定設計書作成における分野で業務支援を継続的に行いました。



広島県府中市での現況調査を行う本会派遣隊

平成30年度 交通安全講習会を開催しました

去る8月29日（水）、本会館5階大会議室において、本会職員を対象とした交通安全講習会を開催しました。

講師として宮城県仙台北警察署の庄子交通指導係長を招き、宮城県内における交通事故の事例を基にした事故原因の説明や、どのような点に注意すれば事故を防止できるかなどの講義を受けました。

引き続き、交通安全啓発に関するDVDを視聴し、交通事故の怖さを感じる内容でした。

講習会は、1時間程度の内容でしたが、参加した52名の本会職員は、真剣な表情で受講し、交通安全の意識向上に大変有意義な講習会となりました。



庄子交通指導係長による講演



講演会の様子（本会館5階大会議室）

～平成30年 秋の叙勲～

去る11月3日付けで、内閣府から平成30年秋の叙勲受章者が発表され、本会関係者では、山田悦郎氏（元瀬峰町長）が旭日双光章を受章されました。

このたびの受章を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

旭日双光章



山田 悦郎 氏 元瀬峰町長

～平成30年 文化の日表彰～

宮城県は平成30年文化の日表彰受賞者を発表し、本会関係者では地方自治功勞として齋藤貞氏（元亘理町長）、鈴木勝雄氏（元利府町長）、赤間正幸氏（元大郷町長）、産業功勞として阿部定氏（元美里東部土地改良区理事長）、及川幸男氏（現伊豆沼土地改良区理事）が受賞されました。

このたびの受賞を心からお慶び申し上げ、益々のご活躍を祈念申し上げます。

地方自治功勞



齋藤 貞 氏 元亘理町長

地方自治功勞



鈴木 勝雄 氏 元利府町長

地方自治功勞



赤間 正幸 氏 元大郷町長

産業功勞



阿部 定 氏
元美里東部土地改良区理事長

産業功勞



及川 幸男 氏
現伊豆沼土地改良区理事

土地改良区めぐり

黒沢尻用水路土地改良区

シリーズ
28

土地改良区の概要

本地域は、宮城県南部に位置し、蔵王山麓東部の松川及び白石川の左岸に展開する刈田郡蔵王町、柴田郡大河原町、柴田郡村田町の3町に跨がり、西部の蔵王町には東北自動車道、東部の大河原町、村田町には東北新幹線が縦走し、一級河川澄川と松川、藪川を水源とした水田地帯です。

本土地改良区は、既に室町時代より任意の団体として運営されていたと言われており、明治22年に今の蔵王町宮地区、大河原町、村田町を受益とする用水組合として維持管理を行うようになりました。明治37年には新たに蔵王町永野地区、円田地区、矢附地区が加入し、今の前身である水利組合となり、昭和27年に黒沢尻用水路土地改良区が設立され現在に至ります。

土地改良事業については、昭和35年の第一次積寒事業から始まり、第二次積寒事業、ため池等整備事業、県営及び団体営かんがい排水事業、県営排水対策特別事業、平成16年度に完了した県営ほ場整備事業（金ヶ瀬地区）など多くの事業に積極的に取り組んできました。

現在は、経年劣化が進む施設の対応策として、平成26年度より宮城県で第1号となる水利施設整備事業を実施し、平成28年度からは農業基盤整備促進事業により施設の延命化を図っています。

今後は、県営造成施設管理体制整備促進事業等を活用しながら、関係機関との連携強化により軟弱化しつつある管理体制の整備強化と事業運営の円滑化を図り、組合員の負担軽減と農業経営の安定に努めていく方針です。



疣岩分水工

啓発活動
(中山間地域等農村活性化事業)

黒沢尻用水路土地改良区の概要

所在地：柴田郡大河原町字新南19番地

団体表彰：

- ・昭和57年 全国土地改良区事業団体連合会 銅賞受賞
- ・昭和62年 全国土地改良区事業団体連合会 銀賞受賞
- ・平成3年 全国土地改良区事業団体連合会 金賞受賞

受益面積：609ha

組合員：908名 総代：30名 理事：11名

監事：3名 職員：4名



位置図

祝 迫川上流土地改良区と真坂土地改良区の 合併が許可されました

去る5月23日（水）に迫川上流土地改良区と真坂土地改良区の合併予備調印式が挙行され、平成30年11月30日付けで東北農政局より合併が許可されました。

両土地改良区の合併は、行政との連携強化、農業農村整備事業の計画的推進、土地改良区の組織運営基盤の強化、農業用施設の適正な管理、重複する面積及び組合員の解消を目的とし、多面にわたって発展的な展望が開け、組合員へのきめ細やかな対応が可能となりました。



合併予備調印式の様子



関係者による固い握手

<統合整備前の土地改良区>

土地改良区名		迫川上流土地改良区	真坂土地改良区	備 考
所 在 地		栗原市金成沢辺町沖205番地	栗原市一迫真坂字鶴町300番地	
電 話 番 号		0228-24-7643	0228-52-2359	
設 立 年 月 日		平成21年 1 月30日	昭和46年3月4日	
許 可 番 号		東北農政局 8 号	宮区第308号	
関 係 市 町 村		栗原市、登米市、一関市	栗原市	
地 区 面 積		10,283ha	1,148ha	合併10,617ha (重複面積814ha)
組 合 員 数		7,341人	973人	合併後7,588人 (重複数726人)
総 代 数		90人	43人	
役員数	理事数	20人	14人	
	監事数	3人	4人	
職 員 数 等		28人（嘱託含み）	3人（嘱託含み）	
現 在 の 事 業 内 容		・ 農業競争力強化基盤整備事業 （沼田・八木地区・大目地区） ・ 維持管理事業 （附帯の発電事業含む）	・ 経営体育成基盤整備事業 （玉沢地区） ・ 維持管理事業	
理 事 長		菅原 義幸	佐藤 榮	

※平成29年9月30日時点でのデータとなります。（第3回迫川上流土地改良区統合整備推進協議会資料より）

BV シリーズ Ver. 12 リリースしました。

64bit ネイティブ対応で快適な操作を実現。拡張土木機能も充実

Bigvan al-Nil 2018 発売中！

農林土木設計に便利な拡張土木機能

詳細は、当社ホームページへ <http://www.bigvan.co.jp/>

株式会社 ビッグバン 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-12 NKビル9F tel 03-3851-2227 fax 03-3851-2228

拡張土木オプション

- ・縦横断面作成機能が新たに追加。
- ・GPS写真配置
- ・SIMAデータ
- ・SIMA-DM
- ・座標一覧
- ・クロソイド
- ・法面記号
- ・土量計算
- ・面積計算
- ・土木ハッチング
- ・路面標識
- ・赤書き
- ・簡易断面
- ・トラバース/逆トラバース
- ・面積集計機能

測量の新時代！

モバイル・マッピング・システム

MMS でコストダウンと作業効率を向上

土地改良事業の基盤地図データの作成から、農道台帳、用排水施設アセットマネジメント、田面高の調査など道路を走行するだけで必要な空間情報（3次元情報）を取得し、短工期で高精度なデータをお客様に提供します。

株式会社パスコ 〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁 205-1 問合せ：022-299-9522



PASCO
World's Leading Geospatial Group

株式会社同和建材

〒989-6124

宮城県大崎市古川石森字天王山2-1

電話 0229-24-2755

FAX 0229-24-2756

- ☆ 農業用水資材販売
- ☆ 上水・下水道資材販売
- ☆ 暗渠排水資材販売
- ☆ 土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

より良い農業環境を



お陰様で弊社は創業 70 周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂けますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング

萱場工業株式会社

本社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号
TEL: 022-272-8686
ホームページ: <http://www.kayaba-ind.co.jp>
支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡、石巻、大崎



◆◆本会会員代表者の就退任関係◆◆

【北部支部管内】

◇真坂土地改良区

佐 藤 榮 退任【H30.11.30】

◆◆本会会員土地改良区の合併について◆◆

【北部支部管内】

◇真坂土地改良区（合併先：迫川上流土地改良区）

11月30日付けで上記土地改良区が合併されました

連合会日誌



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
8月	1日	宮城県多面的機能支払推進協議会	平成30年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	えずこホール（大河原町）
	2日	東北・北海道土地連連絡協議会	農事用電力に係る要請活動	東京都
	6日～8日	東北農政局、宮城県、本会	第23回七夕まつり“こどもに夢を”	勾当台公園（仙台市）
	7日	本会	第2回理事会	本会館
	9日	宮城県多面的機能支払推進協議会	平成30年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	まほろばホール（大和町）
	10日	宮城県多面的機能支払推進協議会	平成30年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	栗原文化会館（栗原市）
	21日	宮城県多面的機能支払推進協議会	平成30年度 多面的機能支払に係る活動支援研修会	はまなすの館（気仙沼市）
	24日	本会	平成30年度 換地技術者育成研修会（第2回）	古川事業所
	27日～28日	東北・北海道土地連連絡協議会	平成30年度 事務主任者会議	晴風荘（福島県）
9月	29日	本会	平成30年度 交通安全講習会	本会館
	3日～7日	本会	平成30年度 インターンシップ事業（大学生）	本会館
	5日	本会、東部支部	平成30年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業	東松島市
	7日	水土保持強化対策センター	平成30年度 宮城県水土保持強化センター土地改良換地士部会研究会	古川事業所
	11日	本会、東部支部	平成30年度 東部支部管内土地改良女性職員研修会	大崎市
	12日	本会	広島県土地改良事業団体連合会災害派遣壮行式	本会館
	13日～14日	本会	平成30年度 土地改良区体制強化事業財務・会計実践向上研修（第1回）	本会館
	13日～14日	全土連	平成30年度 ふるさと水と土基金全国研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）
	19日～20日	全土連	都道府県土地連事務責任者会議等	都道府県会館（東京都）
	20日～21日	本会	平成30年度 土地改良区体制強化事業財務・会計実践向上研修（第2回）	本会館

	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
10月	2日～4日	本会	平成30年度 インターンシップ事業（高校生）	古川事業所
	16日	全土連、本会	第41回全国土地改良大会宮城大会（式典・交歓会）	グランディ21総合運動公園（利府町）、仙台国際センター（仙台市）
	17日～18日	全土連、本会	第41回全国土地改良大会宮城大会（事業視察）	宮城県内
	24日	東北農政局、宮城県	農業農村整備事業等に関する説明会（キャラバン）	本会館
	24日～25日	東北・北海道土地連連絡協議会	東北・北海道ブロック管理主任者会議及び施設財務管理強化対策専門指導員会議	ホテルメトロポリタン盛岡（岩手県）
	25日～26日	東部支部	東部支部会員研修会	西浦原土地改良区（新潟県）
	25日～26日	仙台支部	仙台支部役職員合同研修会	那須野ヶ原土地改良区連合（栃木県）
11月	1日～2日	本会	平成30年度 定期監査（中間監査）	本会館
	2日	本会	第3回監事会	本会館
	7日～8日	本会	平成30年度 土地改良区役員研修会	ホテルニュー水戸屋（仙台市）
	13日	本会	平成31年度 農業農村整備事業推進に係る意見交換会	都市センターホテル（東京都）
	14日	全土連	「農業農村整備の集い」－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－	シェーンパッハ・サボー（東京都）
	15日	東北・北海道土地連連絡協議会	農業農村整備関係予算の確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動	農林水産省他（東京都）
	15日	本会、名取土地改良区	平成30年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業	岩沼市
	16日	本会、仙台支部	平成30年度 海岸防災林再生支援植樹活動「水土里ネットの森」保育作業	亘理町
	16日	本会	平成30年度 第1回農業水利施設ストックマネジメント研修会	大河原合同庁舎（大河原町）
	19日	本会	水土里ネット議員懇話会と管内土地改良区意見交換会（大河原支部）	ホテル原田inさくら（柴田町）
	20日～21日	東北・北海道土地連連絡協議会	平成30年度 東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会技術主任者会議	母畑温泉 八幡屋（福島県）
	21日	北海道・東北標準積算システム利用団体連絡会	平成30年度 北海道・東北標準積算システム利用団体連絡会	山形県庁
	21日	本会	水土里ネット議員懇話会と管内土地改良区意見交換会（仙台支部）	パレス宮城野（仙台市）
	22日	本会	水土里ネット議員懇話会と管内土地改良区意見交換会（東部支部）	ホテルニューグランヴィア（登米市）
	28日	本会	水土里ネット議員懇話会と管内土地改良区意見交換会（北部支部）	グランド平成（大崎市）
	29日～30日	疎水ネットワーク	疎水フォーラムin立梅用水2018	多気町民文化会館（三重県）
	29日	水土里クラウド運用連絡協議会	平成30年度 第2回水土里クラウド連絡協議会	NTT空間情報株式会社（東京都）
	29日～30日	ため池フォーラムinひょうご実行委員会	2018ため池フォーラムinひょうご	神戸新聞松方ホール（兵庫県）
	3日～7日	会計検査院	平成30年度 会計検査院第4局農林水産検査第2課会計実地検査	宮城県内
12月	10日	宮城県農林水産部	土地改良区における小水力発電会計の手引き等改正に関する説明会	仙台第1合同庁舎（仙台市）
	10日	本会	第3回理事会、第4回監事会	鳴子観光ホテル（大崎市）
	12日	全土連	平成30年度 農業農村整備優良地区コンクール選定審査会	全国町村会館（東京都）
	19日	本会	平成30年度 換地計画実務研修会	本会館
	21日	本会	平成30年度 第2回農業水利施設ストックマネジメント研修会	古川事業所
	28日	本会	仕事納め式	本会館

今後の行事予定

2019	1月7日	本会	仕事始め式	本会館
	2月上旬	本会	第4回理事会	本会館
	3月中旬	本会	第5回理事会	本会館
	3月下旬	本会	第60回本会通常総会	本会館
	3月下旬	全土連	第61回全国水土里ネット通常総会・土地改良功労者等表彰式	砂防会館別館（東京都）

多機能・自動化で水管理を柔軟にサポート! SEKISUI

タイマー型、リモコン操作型、遠隔操作型の3つのラインアップで給水操作を自動化し、水管理を省力化。農作業の負担を軽減し、**高品質生産**を実現します。

自宅からPCで操作

外出先からスマホ・タブレットで操作

クラウドサーバー

水まわりくん

水まわりくんアプリ地図画面イメージ

水管理の見える化
Webアプリで
給水動作を確認!

グラフで動作確認

水管理
省力化

大規模
営農の
実現

ICT化
(情報通信技術)

水田水管理省力化システム
多機能型自動給水機

エスロン 水まわりくん

近日発売予定

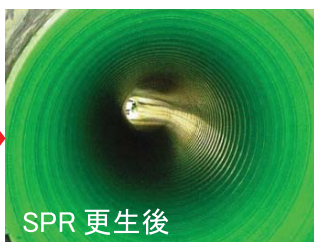
積水化学工業株式会社

環境・ライフラインカンパニー
管材事業部 TEL.03(5521)0833

エスロンタイムズ on the Web <http://www.eslontimes.com>



非開削で既設管を 水密性抜群の管に スピード更生! 農業用SPR工法



管の形状
口径・勾配に
フレキシブルに
対応!



日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車 39-3

TEL・FAX 022-392-5981

日本SPR工法協会

TEL 03-5209-0130(代)

ホムペ http://www.spr.gr.jp/



●発行 2019年1月1日

水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号

Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390

<http://www.mlw.or.jp>

●印刷

株式会社 イシカワ印刷

〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9

Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035

